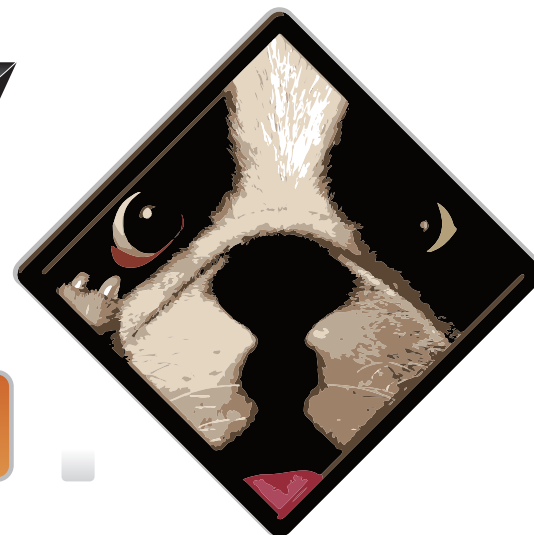


SPIKEY

W E B - P U B .



次世代CMS"SPIKEY (スパイキー)"

<https://www.spikey.jp>



合同会社 オンスパイク

"SPIKEY(スパイキー)" とは、

ヘッドレスCMSの柔軟性とテンプレートによるページ作成を融合した次世代ハイブリッドCMS。
直感的な操作性とカスタマイズ性を両立した革新的なWEB開発ソリューションです。

バックエンドでは、自由なデータベース設計と独自ロジックを組み込める「FILTER」機能により、ユーザー独自のカスタムCMSを構築できます。

フロントエンドでは、HTMLフレームワークを使用し、HTML・CSS・JSはそのままに、必要な要素を追記するだけでページを作成できます。

使いやすさと柔軟性を兼ね備え、迅速なページ構築を実現し、WEB開発の多様なニーズに応えます。

SPIKEYは、新しい発想から生まれた次世代CMS。
従来の枠組みを超え、自由にスムーズなサイト運営を実現します！

SPIKEY

VS

一般的なCMS

- データ構造は自由に設定でき、サイトの仕様やコンテンツに適した柔軟な設計が可能。

データベース

- データ構造はカスタムフィールドなどで、拡張できるが、柔軟な設計は難しい。

- 機能拡張は、ロジックを組み合わせる構築できる「FILTER」により簡単に実装可能。

バックエンド

- 機能拡張は、プラグインで対応可能だが、独自機能の追加にはカスタム開発が必要。

- システムの機能を追加する「WEB-ACT」は、HTMLに埋め込むだけで実装可能。

フロントエンド

- システムの機能を追加する「プラグイン」は、PHPのカスタマイズが必要。

- テンプレートは「HTML」なので、作成は非エンジニアでも作成可能。

画面作成

- テンプレートは「テーマ」なので、作成はPHPなどの知識が必要。

- 同一サーバー内で、マルチサイトを管理運営できるので、効率的な運用が可能。

管理運営

- 同一サーバー内で、マルチサイトを管理運営できるが、制約がある。

- 管理画面が基本。ページ上での登録・更新は、「WEB-PUB」コンテンツでは可能。

管理方法

- 管理画面が基本。ページ上での登録・更新は、「プラグイン」が対応していれば可能。

- JAVAによる効率的なシステム設計で、軽量かつ高速な処理を安定して実現。

パフォーマンス

- 不要なプラグインを避けて最適化すれば、安定したパフォーマンスを実現可能。

① 4つのクラスでホームページを効率よく管理

ページを管理する「PAGES」、商品を管理する「LINEUPS」、メンバーを管理する「MEMBERS」、レジを管理する「REGISTERS」の4つのクラスがあります。クラスは、それぞれの内容に合わせた基本テーブルのほか、自由に定義できるテーブルを設定して、ホームページを効率よく管理できます。

② コンテンツはボックス単位で管理

スパイキーでは、データを「ボックス」という単位で管理します。ボックスには、分類のための「カバー」、その配下に「カテゴリー」「ジャンル」「アイコン」などのラベル、そして、コンテンツがあります。これらの要素はページ構成に合わせて自由に設定可能です。さらに、データ同士を関連付けることもできるため、複雑なデータ構成にも柔軟に対応できます。

③ 項目内容に合わせたフォーマットを設定

基本的な構成内容を管理する「BOARD」、イベントや日付に基づくコンテンツなどのカレンダーフォーマット「CALENDAR」、画像の注目ポイントに関連づけて説明を付加する形式の「FEATURE」の3つのフォーマットがあります。この3つのフォーマットを組み合わせることで、さまざまなタイプのコンテンツでも柔軟に管理できます。

④ データ項目は自由にアレンジ

ホームページのCMS化する要素にあわせて「テーブル」構成を自由に定義できます。タイトルや本文、画像、数字、メールアドレス、リンク先のURL ……など、項目に合わせたフォームがプリセットされています。もちろん、チェック機能もセットになっているので、意図しない値は入力されることはありません。また、ホームページの公開後でも追加・削除することができるのでブラッシュアップにも対応しています。

⑤ 単体機能”フィルター”でデータを思い通りにハンドリング

フォームから入力されたデータをもとに、さまざまな機能を追加できる単体機能がプリセットされています。例えば、テキスト関連ではフォーマット変換、置換、スライスなどの機能、画像関連ではリサイズや回転、QR・バーコード作成などの機能、さらにChatGPTなどのAIを利用した外部API連携機能も利用可能です。フィルターは複数設定でき、設定した順に実行されるため、自由な組み合わせで独自の仕組みを構築することができます。

⑥ ”HTMLフレームワーク”で、デザインも思いのままにページを作成

データを表示するテンプレートはHTMLそのものです。いつも使っているDreamweaverなどのホームページ制作ソフトがそのまま使えます。もちろん、CSS、JavaScriptなどの使用に制限はありません。データを挿入したい箇所にコメントアウトでタグを貼り付けるだけでテンプレートの完成です。

⑦ プログラム的なことは”WEB-ACT”ウェブアクションで簡単に実現

メールフォーム、メンバーページ、ショッピングカートなど、プログラムが必要な機能も簡単に実現することができます。プログラムはAPIで提供しているので、HTMLテンプレートにコメントアウトでアクションタグを追加するだけで、思い通りの機能を持ったホームページを作成することができます。

これらの機能・特徴を組み合わせ、独自のCMSを構築できます。

例)ニュース要素

ニュースは、日付、ニュースカテゴリ、画像、見出し、本文のほか、
リンク、表示・非表示、表示開始日時、表示終了日時の9項目で構成しています。

The diagram illustrates the structure of a news item with three examples. Red arrows point from labels to specific parts of the items:

- cate / ニュースカテゴリ** points to the "Press Release" category label in the first and third items.
- date / 日付** points to the "2024.07.01" date label in the first, second, and third items.
- head / 見出し** points to the "見出し" (headline) text in the first item.
- body / 本文** points to the main text in the first item.
- img / 画像** points to the image placeholder in the second item.

The three news items are as follows:

- Press Release**
2024.07.01
見出し
ダミーテキストは、デザイナーや編集者など、文章を扱う人々にとってデザイナーや編集者など、文章を扱う人々にとって便利なツールです。
- プレスリリース**
2024.07.01
見出し
ダミーテキストは、デザイナーや編集者など、文章を扱う人々にとってデザイナーや編集者など、文章を扱う人々にとって便利なツールです。
- Press Release**
2024.07.01
見出し
ダミーテキストは、デザイナーや編集者など、文章を扱う人々にとってデザイナーや編集者など、文章を扱う人々にとって便利なツールです。

① ホームページのCMS化する要素の”テーブル”を作成します。

※Contentsデータベースに、ニュース要素をテーブル名「news」で作成

Contents Board Line news ニュース
タイプ シート ライン タグ[1-15英数字] 名前[必須] REGIST

② ニュースの構成要素にあわせて”テーブル／フィールド”を作成します。

※ニューステーブルに日付、ニュースカテゴリ、画像、見出し、本文、リンク、表示・非表示、表示開始日時、表示終了日時の9カラムを作成

テキスト DEFAULT name 名前
フォーム スタイル タグ[1-15英数字] 名前[必須] REGIST

本文
FILE.IMAGE
真偽
ポップ
カナ
カタカナ
英字
数字
日時
E-MAIL
URL
不可視属性

・・・など50項目から選択

FORM EDITOR

フォーム	名前	設定	順序
日付	date	-default 日付	1
ACT・フォーム	cate	-default ニュースカテゴリ	2
FILE.IMAGE	img	-default 画像	3
テキスト	head	-default 見出し	4
本文	body	-note 本文	5
リンク	href	-default リンク	6
真偽	switch	-default 表示・非表示	7
日時	startfm	-default 表示開始日時	8
日時	closefm	-default 表示終了日時	9

③ 単体機能の”フィルター”でロジックを組み立て、独自の仕組みを構築します。

※ニューステープルの画像に対して、リサイズとトリミング機能を追加

IMGリサイズ (フィルター) pict (ターゲット) pict (アタッチ) 画像をリサイズ (名前[必須])

フォーマット
 オキカエ
 スライス
 数字フォーマット
 メール
 IMGテキスト
 IMG QR コード
 PDFテキスト
 PDF QR コード
 FILEリーダー
 FILEライター
 ACT.INC

・・・など46単体機能がプリセット

FILTER EDITOR

フィルター	名前	設定	順序
IMGリサイズ	img → img	画像リサイズ	OPEN: 1
IMGトリミング	img → img	画像トリミング	OPEN: 2

FILTER EDITOR

フィルター

IMGリサイズ img img 画像リサイズ

名前[必須] 画像リサイズ

メモ

アタッチ img

スイッチ ---

設定 wsize="320"

画像をヨコ320ピクセルにリサイズ

FILTER EDITOR

フィルター

IMGリサイズ img img 画像リサイズ

IMGトリミング img img 画像トリミング

名前[必須] 画像トリミング

メモ

アタッチ img

スイッチ ---

設定 hsize="240"
bg="#CCCCC"

画像をタテ240ピクセルにトリミング

- ④ テーブルのカラム名をコメントアウト形式で記述する”HTMLフレームワーク”で、
”テンプレートHTML”を作成します。

HTML	テンプレートHTML
<pre> ~ ↑ html省略~ ~liの繰り返し~ <div> <p>プレスリリース</p> <p>2024.09.01</p> </div> <div> </div> <div> <h3>見出し…</h3> <p>本文…</p> </div> ~liの繰り返し~ ~ ↓ html省略~ </pre>	<pre> ~ ↑ html省略~ <!--@news--> <!-- 検索 @switch='1'--> <!-- 開始 @start="--><!-- 終了 @close="--> <!-- 追加 @cate='<p class="cate *"></p>'--> <!-- 置換 @dummy=' '--> <!--/--> <div> <!--cate/--> <!--date--><p>0000.00.00</p><!--/date--> </div> <!--img--><div></div><!--/img--> <div> <!--head--><h3>見出し…</h3><!--/head--> <!--body--><p>本文…</p><!--/body--> </div> <!--dummy--><!--/dummy--> <!--/--> <!--@news--> ~ ↓ html省略~ </pre>

HTML WRITER

WEB-PUB

HTMLフレームワーク「HTMLライター」

スパイキーはヘッドレスCMSです。

フロントエンドは、普段通りにHTMLをコーディングするだけでOK。

HTMLの中にコメントアウト形式のタグを追加するだけで、

データベースと連携し、さらに、機能を追加したページを思い通りに作成できます。

➡ <https://web-pub.spikey.jp/htmlwriter/index.jsp>

HTML ELEMENT

WEB-PUB

HTMLエレメント「ウェブパブ」

ウェブパブとは、ホームページの構成要素を定義したエレメント。
ページへの反映は、API経由で呼び出すだけなので、効率的にページを作成できます。
また、エレメントの内容はそのページ上で直接編集可能です。
バックエンドで管理されるデータを柔軟に扱いつつ、フロントエンドのデザインや機能をスムーズに反映させることができます。
さらに、WordPressなど、ほかのCMSからもAPIを通じてエレメントを呼び出し、コンテンツとして活用できます。

➡ <https://web-pub.spikey.jp/index.jsp>

WEB-ACTION

WEB-PUB



フロントエンドロジック「WEB-ACT」

フロントエンドにシステム機能を追加する、「WEB-ACT(ウェブアクション)」。
パンくずリスト、メールフォーム、メンバーログイン、ショッピングカート、カード決済など、プログラム
が必要な機能を簡単に実現することができます。
テンプレートHTMLに<!--%アクション="action-name.jsp" --><!--/%アクション-->形式のタグ
を追加するだけで機能を追加できます。

WEB-ACT／全200機能

- パンくずリスト → <https://web-pub.spikey.jp/WEB-ACT/pagePankuzu.jsp>
- メールフォーム → <https://web-pub.spikey.jp/WEB-ACT/formMail.jsp>
- メンバーログイン → <https://web-pub.spikey.jp/WEB-ACT/memLogin.jsp>
- ショッピングカート → <https://web-pub.spikey.jp/WEB-ACT/cartkit/tools/dataCart.jsp>
- カード決済 → <https://web-pub.spikey.jp/WEB-ACT/cartkit/pay-gmopg/reqGmopgCredit.jsp>



バックエンドロジック「FILTER」

バックエンドにシステム機能を追加する「FILTER(フィルター)」。
テキスト、画像、PDF、数値、計算、コード、ファイル処理など約50種類のロジックをプリセット。
SPIKEYに各ロジックを実行順に設定することで、ユーザー独自の機能を追加できます。
さらに、ChatGPTによる、文章・画像生成や、RemoveBGによる背景除去などのAIロジックも利用可能。コンテンツ管理を効率化し、業務フローの最適化を実現します。

FILTER／全50機能

値、If、マッチ、フォーマット、オキカエ、スライス、分割、日付、計算、メール、数字フォーマット、数字ラウンド、数字レンジ、IMGリサイズ、IMGローテート、IMGトリミング、IMGテキスト、IMGスタンプ、IMGフレーム、IMGタイリング、IMGプロパティ、IMGコード、IMGQRコード、JPG日時、JPG座標、PDFリサイズ、PDFローテート、PDFトリミング、PDFスタンプ、PDFテキスト、PDFイメージ、PDFタイリング、PDFコード、PDFQRコード、PDFフォーム、Fileリーダー、Fileライター、テンプレート、HTML保存、シリアルナンバー、CMDリネーム、CMDムーブ、DEBUGタイマー、DEBUGパス、ACT.INC、ACT.REQ.....



SERVICE PLAN

“SPIKEY”サービスプラン

SaaS型CMS "SPIKEY(スパイキー)" は、"Cloud On SPIKE" として提供しています。
コンテンツ数に制限なく、ホームページ構成に応じて、最適なサーバースペックのプランをご提案。
また、情報メディア別のコンテンツパッケージも展開しており、用途に応じてお選びいただけます。

ミニмумプラン



minimal

¥15,000(月額)

- OS : CentOS Stream9
- 仮想CPU／メモリ : 2コア／2GB
- ストレージ : 200GB
- SSL : Let's Encrypt
- SPIKEY : 1ライセンス(1ドメイン)
- ✓ HTMLフレームワーク「HTML WRITER」
- ✗ HTMLエレメント「WEB-PUB」
- ✓ フロントエンドロジック「WEB-ACT」
- ✓ バックエンドロジック「FILTER」

ベーシックプラン



BASIC

¥35,000(月額)

- OS : CentOS Stream9
- 仮想CPU／メモリ : 4コア／4GB
- ストレージ : 600GB
- SSL : Let's Encrypt
- SPIKEY : 1ライセンス(1ドメイン)
- ✓ HTMLフレームワーク「HTML WRITER」
- ✓ HTMLエレメント「WEB-PUB」
- ✓ フロントエンドロジック「WEB-ACT」
- ✓ バックエンドロジック「FILTER」

+

ベーシックプラス



BASIC PLUS

¥15,000 × ⊕

- 1 仮想CPU／メモリ : 6コア／8GB
ストレージ : 800GB
SPIKEY : 2ライセンス(2ドメイン)
- 2 仮想CPU／メモリ : 8コア／16GB
ストレージ : 1000GB
SPIKEY : 3ライセンス(3ドメイン)
- 3 仮想CPU／メモリ : 12コア／32GB
ストレージ : 1600GB
SPIKEY : 4ライセンス(4ドメイン)

✓ Full Access ✗ 使用不可 ✓ Limited Access(WEB-ACT / EC 機能除く)

※ホームページの規模や構成により運用制限が生じることがあります。

上記プラン以外にも、最適なプランをご提案可能です。

※AIや決済処理などのサービス利用費は各プランには含まれていません。これらの機能を利用する場合、サービス提供会社と別途契約する必要があります。
例) ChatGPT利用費 : GPT-3.5 Turbo(入カトークン1,000あたり\$0.001、出カトークン1,000あたり\$0.002)
例) RemoveBG利用費 : 10クレジット／990円、75クレジット／5,290円、200クレジット／10,900円、500クレジット／21,900円
AI利用費は2025年3月現在の価格です。詳しくは各サービス提供会社にお問い合わせください。

ミニмумプランサーバーを
10サイトで共有するシェアードプラン

SHARED ¥3,500(月額)

WEB-PUBをWordPressなどから
APIを通して表示するプラン

API-PUB ¥7,000(月額)

WEB PRODUCTS

スパイキーを使ったウェブサービス・コンテンツの企画・制作・
発信支援も行っています。